

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	解剖学 4
科目基礎情報				
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期 後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	教科書（解剖学 - 社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。			
担当教員情報				
担当教員	千坂 英輝	実務経験の有無・職種	無	
学習目的				
<p>柔道整復学の基礎となる人体の正常構造について、統合的に理解することを主な目的としている。心臓、動脈系、静脈系、リンパ系を学び、解剖実習によって、より肉眼的、三次元的に人体の構造を理解し、基礎医学、臨床医学の基礎をつくるのがねらいである。教科書の図に合わせ適宜プリントを配布するとともに各種模型を用いてそれぞれの器官について三次元的にイメージが出来るよう注意を払い、近年の医療革新からくる身体構造の知識の必要性に答えながら、上記関連学問と関係づけて授業を進める。</p>				
到達目標				
<p>人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について、組織学、発生学、画像解剖学の知識とともに統合的に理解する。器官と部位の解剖用語を正確に述べられること、心臓、動脈系、静脈系、リンパ系等について器官の肉眼解剖学的構造と細胞・組織構造を関連づける。解剖実習を通して器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる知識を身につけることを到達目標とする。</p>				
教育方法等				
授業概要	心臓、動脈系、静脈系、リンパ系について正常構造を統合的に理解し、解剖実習を通して器官をより正確かつ三次元的に把握してそれらを細胞・組織構造と関連付けて説明出来るレベルに到達することを目指す。			
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	0%		
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	脈管系3	心臓の構造について理解する。		
2回	脈管系4	動脈系（肺動脈～内頸動脈）について理解する。		
3回	脈管系5	動脈系（外頸動脈～橈骨動脈）について理解する。		
4回	脈管系6	動脈系（尺骨動脈～下行大動脈）について理解する。		
5回	脈管系7	静脈系（大静脈）について理解する。		
6回	脈管系8	門脈、骨盤部と下肢の静脈について理解する。		
7回	脈管系9	リンパ系について理解する。		
8回	振り返り(1)	1回～7回までの振り返り		
9回	解剖実習1	豚の解剖（運動器：筋）		
10回	解剖実習2	豚の解剖（運動器：骨）		
11回	解剖実習3	豚の解剖（脈管系）		
12回	解剖実習4	豚の解剖（消化器）		
13回	解剖実習5	豚の解剖（呼吸器）		
14回	振り返り(2)	9回～13回までの振り返り		
15回	解剖学3のまとめ	解剖学3全体を通しての振り返り		